

# 兵庫 県 宍 粟 郡 の 蝶 類

松 井 俊 公

最近県下に於いては、各地で蝶類の熱心な調査研究が進められているようです。ところが宍粟郡に於いては豊富な昆虫相を有しながらも、地理的な不便もあつてか、その調査が進んでいないようです。

こうした折から数年来学業の余暇に調査を試み、その結果を未熟ながら、一応ここに紹介し、諸賢の御参考に供したいと思ひます。しかしながら調査は未だ全く不十分であり、今後の詳細な研究を必要とします。この意味に於いて今後発見され得るであろうと思われる未記録種、並に近郷の1、2種について附記したいと考えます。

なお、調査に當つて種々御教示賜つた林憲二郎、磐瀬太郎両先生並に本稿発表をおすすめ下さつた恩師建部惠潤先生に厚深の謝意を表します。

## Familia HESPERIIDAE セセリチヨウ科

1. *Erynnis montanus* BREMER ミヤマセセリ 3月下旬から5月にかけて見られる普通。
2. *Daimio tethys* MÉNETRIÈS ダイミヨウセセリ 本種は後翅表面の中央に白帯をもつ俗に“関西型”と云われる Subsp. *felderi* BUTLER である。4月下旬から8月下旬にかなり多い。
3. *Choaspes benjaminii japonica* MURRAY オオバセセリ 5月下旬～8月下旬、山地性で普通。
4. *Isoteinon lamprospilus* FELDER et FELDER ホソバセセリ 7月下旬～8月下旬、草生地に多い、普通。
5. *Thymelicus sylvatica* BREMER ヘリグロチヤバネセセリ 7月下旬～8月にかけて山地に多い。
6. *Ochlodes ochracea rikuchina* BUTLER ヒメキマダラセセリ 8月に多く山地性で普通。
7. *Halpe veria* MURRAY コチヤバネセセリ 4月～8月にかけて普通に見られる。
8. *Polytremis pellucida* MURRAY オオチヤバネセセリ 普通やや局地的性がある。
9. *Pelopidus mathias oberthiiri* EVANS チヤバネセセリ 5月～8月にかけて普通。
10. *Paranara guttata* BREMER et GREY イチモンジセセリ 山間の水田に多く、“ツトモシ”として知られている。6月～8月最も普通。

## Familia PAPILIONIDAE アゲハチヨウ科

11. *Paranassius glacialis* BUTLER ウスバシロチヨウ 4月上旬～5月、山本広一氏によると三方村で

採集された由、筆者はまだ採集し得ない。また佐用郡の山間に於いて採集したことがあり、今後の再確認を要する。

12. *Menelaides alcinous* KLUG ジヤコウアゲハ 平地にやや普通、7月下旬～8月下旬
13. *Graphium sarpedon nipponum* FRUHSTORFER アオスジアゲハ 4月～8月、普通。
14. *Papilio machaon hippocrates* FELDER et FELDER キアゲハ 4月～8月、山地性でやや普通。
15. *P. xuthus* LINNÉ アゲハチヨウ 3月下旬～9月上旬、かなり多い。
16. *P. macilentus* JANSON オナガアゲハ 4月～8月下旬、各地に普通、山地性。
17. *P. protenor demetrius* CRAMER クロアゲハ 4月上旬～8月、普通。
18. *P. helenus nicconicolens* BUTLER モンキアゲハ 5月～8月中旬、やや少ない。飛翔が早くて捕え難い美麗種。
19. *P. bianor dehaanii* FELDER et FELDER カラスアゲハ 4月～8月に多く、相当の山地性を有し、群集する性質がある。
20. *P. maackii satakei* MATUMURA ミヤマカラスアゲハ 本種は非常に少ない。山本氏に依り奥谷から記録があり、筆者は引原にて1頭目撃す。しかし今後各地に発見されると思う。

## Familia PIERIDAE シロチヨウ科

21. *Eurema hecabe mandarina* DEL'ORZA キチヨウ 3月上旬～10月、最も普通。11月、12月越冬の成体を見かけることがある。
22. *Gonepteryx mahaguru nipponica* VERITY スジボソヤマキチヨウ 3月中旬から9月中旬、春早くから出現、9月には越冬前の新鮮な個体が得られる。
23. *Colias hyale poliographus* MOTSCHULSKY モンキチヨウ 4月～8月、普通。
24. *Eurema taeta bethesba* JANSON ツマグロキチヨウ 4月～9月、本種はキチヨウと混同され易く、発見され難いから今後の注意を要するもので、やや普通。
25. *Anthocaris scolymus* BUTLER ツマキチヨウ 4月上旬～5月、発生期間が短かくて割合小型のため見逃し易い種、普通。

26. *Pieris rapae crucivora* BOISDUVAL モンシロチ  
ヨウ 3月上旬～8月中旬、最も普通。
27. *P. melete* MÉNÉTRIÈS スジグロシロチヨウ  
4月中旬～8月、山地性を有す、最も普通。  
Familia LYCAENIDAE シジミチヨウ科
28. *Curetis acuta paracuta* DE NICÉVILLE ウラギ  
ンシジミ 4月下旬～10月中旬まで見られ、秋には  
殆んど雄ばかりである。(多い)
29. *Arhopala japonica* MURRAY ムラサキシジミ  
4月上旬～9月上旬、8月に多い、普通。
30. *Artopoëtes pryeri* MURRAY ウラゴマダラシ  
ミジ 6月上旬～7月下旬、安師村に於いて採集し  
たのみであるが、その他の地にも発見されると思  
う。(特に6月中旬～7月初めにかけて)
31. *Japonica lutea* HEWITSON アカシジミ  
6月中旬～7月上旬、発生時期が限定されるため発  
見し難いのが *Zephyrus* 類である、普通。
32. *J. saepestriata* HEWITSON ウラナミアカシジミ  
6月中旬～7月上旬、局所的、普通。
33. *Antigius attilia* BREMER ミズイロオナガシジミ  
6月中旬～7月上旬、各地に多い。
34. *A. butleri* FENTON ウスイロオナガシジミ  
6月中旬～7月上旬、やや少ない。
35. *Favonius orientalis* MURRAY オオミドリシジミ  
6月中旬～7月、個体数は明らかでないが相当産す  
るものと思われる。
36. *Rapala arata* BREMER トラフシジミ  
6月中旬～7月下旬、やや普通。シジミ類の中では  
比較的遅くまで新鮮な個体が得られる。
37. *Ahlbergia ferrea* BUTLER コツバメ  
3月下旬～5月上旬、普通。
38. *Lycaena phlaeas daimio* SEITZ ベニシジミ  
4月～8月、最も普通。
39. *Taraka hamada* DURCE ゴイシシジミ  
7月上旬～10月中旬、各地に多い。
40. *Lampides boelicus* LINNÉ ウラナミシジミ  
越年態が不明である。8月中旬～10月上旬。春に於  
いては全く見かけたことがない。越年態が問題とな  
っており、暖地から“渡り”をするのではないかと  
も云われている。本郡では西谷村、三方村に於いて  
8月中旬に発生しており南部平地では9月に入つて  
からおびたしい数になるようである。
41. *Zizeeria maha argia* MÉNÉTRIÈS ヤマトシジミ  
4月上旬～9月上旬、最も普通。
42. *Zizina otis alope* FENTON シルビアシジミ  
最近ヤマトシジミから区別され、非常に極似する  
が、後翅裏面の斑紋に依り明らかである。3月中旬  
～8月下旬、やや普通。
43. *Celastrina argiolus ladonides* DE L'ORZA ルリ  
シジミ 3月中旬～8月、最も普通。
44. *C. sugitanii* MATSUMURA スギタニルリシジミ  
5月上旬、1952年5月3日戸倉峠(891 m)で6匹  
合せて20数頭採集した。水たまりなどで群居し、全  
く驚くばかりであつた。本県からは未記録であつた  
のは食草(トキノキ)と発生時期の関係によると思  
う。
45. *Everes argiades seitzii* WNUKOWSKY ツバメシ  
ジミ 4月～8月、普通。
46. *Tongeia fischeri* EVERSMANN クロツバメシジミ  
本県最初の記録と思う。1953年7月30日2頭の本種  
を山崎町にて採集する。食草はベンケイソウ科のも  
ので、本植物の自生地では注意を要する。  
Familia LIBYTHEIDAE テンゲチヨウ科
47. *Libythea celtis celtoides* FRUHSTORFER テンゲ  
チヨウ 3月下旬～10月中旬、多い。  
Familia DANAIIDAE マダラチヨウ科
48. *Caduga tytia nipponica* MOORE アサギマダラ  
7月上旬～8月、割合多い。山地性。  
Familia NYMPHALIDAE タテハチヨウ科
49. *Argynnis paphia geisha* HEMMING ミドリヒヨウ  
モン 7月～8月、最も普通。
50. *A. sagana liane* FRUHSTORFER メスグロヒヨウ  
モン 5月～9月上旬、やや普通。
51. *A. anadyomene midas* BUTLER クモガタヒヨ  
ウモン 8月、やや普通。
52. *A. cydippe pallescens* BUTLER ウラギンヒヨウ  
モン 7月～8月、多い。山地性。
53. *A. ruslana* MOISCHULSKY オオウラギンシジ  
ヒヨウモン 8月、*Argynnis* 属に就いては詳細な再  
検当を要する。新たな記録があると考えられる。
54. *Limenitis camilla japonica* MÉNÉTRIÈS イチモ  
ンヂチヨウ 6月上旬～8月、各地に多い。
55. *L. glorifica* FRUHSTORFER アサマイチモンジ  
6月中旬～8月、前種と混同され易く、また混棲す  
るものであるが本種は少し発生が遅れる。やや普  
通。
56. *Nepis aceris passerculus* FRUHSTORFER コミ  
スジ 6月上旬～8月下旬、各地に多い。
57. *N. philyra excellens* BUTLER ミスジチヨウ  
5月～8月、前種に比してはるかに少ない。
58. *Melitaea protomedia* MÉNÉTRIÈS ウスイロヒヨ  
ウモンモドキ 本種は中国山脉系の山地に限られる  
もので本県では“氷ノ山”が産地として知られてい  
る。筆者は1953年7月12日千種村西河内鍋ヶ谷にて

2頭採集した。

59. *Araschnia burejana strigosa* BUTLER サカハチテヨウ 4月中旬～8月下旬、各地に普通。
60. *Polygonia c-aureun* LINNÉ キタテハ 3月中旬～10月上旬、暖地性を有し普通。
61. *Kaniska canace no-japonicum* VON SIEBOLD ハリタテハ 4月上旬～10月上旬、各地に普通。
62. *Nymphalis xanthomelas japonica* STICHEL ヒオドシテヨウ 4月下旬～8月、ネギの花に飛来する事がある。エノキを好み、卵塊を産附するため多数の幼虫に丸裸にされていることもあり、また蛹がこの木に鈴成りとなつていることもある。
63. *Vanessa indica* HERBST アカタテハ 4月～8月、各地で得られる。やや普通。
64. *V. lardui* LINNÉ ヒメアカタテハ 4月～8月、前種と混同され易く、少ない。
65. *Dichorragia nesimachus nesiotus* FRUHSTORFER スミナガシ 5月～8月、樹液に集まり、また飛翔は敏速で捕え難い。各地でやや普通。
66. *Apatura ilia substituta* BUTLER コムラサキ 7月～9月中旬、各地に多い。
67. *Hestina japonica* FELDER et FELDER ゴマダラテヨウ 8月、採集は安師村に於いてのみであるが、各地に産すると思う。
- Familia SATYRIDAE ジヤノメチヨウ科
68. *Ypthima argus* BUTLER ヒメウラナミジヤノメ 4月下旬～9月中旬、各地に最も多い。
69. *Y. motschulskyi* BREMER et GREY ウラナミジヤノメ 6月～8月、最も少ない。
70. *Satyryx dryas bipunctatus* MOTSCHULSKY ジヤノメチヨウ 7月～8月、山地性を有し、普通。
71. *Lethe callipteris* BUTLER ヒメキマダラヒカゲ 6月中旬～8月、山地性種、多い。
72. *L. sicelis* HEWITSON ヒカゲテヨウ 5月下旬～8月、各地に普通。
73. *L. diana* BUTLER クロヒカゲ 5月下旬～8月、山地性、普通。
74. *Aranda schrenckii menalcas* FRUHSTORFER オオヒカゲ 8月、低地にも見られるが局限され、かなり少ない。
75. *Neope goschkevitschii* MÉNÉTRIÈS キマダラヒカゲ 4月下旬～8月下旬、各地に多い。
76. *Mycalesis gotama fulginia* FRUHSTORFER ヒメジヤノメ 6月～8月、各地に普通。
77. *M. francisca perdiccas* HEWITSON コジヤノメ 6月～8月、各地に普通。
- 以上8科77種を産することが明らかになつていま

す。けれども県下で記録されているものでも未だ発見されないものがあり、今後の再検討が必要であります。次に主要未記録種について記します。

*Lühdarfa japonica* LEECH ギフテヨウ 最近氷上郡でも発見されており、本種はウマノスズクサ科を食し、発生が早春3月～5月になるので発見が困難なのであろう。

*Neozephyrus smaragdinus* BREMER メスアカミドリシジミ：山本広一氏は雪彦山では採集された由。*Zephyrus* 類は発生期が限られているためその調査が非常に困難なのであります。

*Neozephyrus taxila japonicus* MURRAY ミドリシジミ日本産の最も普通種。

*Spindasis takanonis* MATSUMURA キマダラルリツバメ 本種は竜野町より得られた標本で記載されて以来今もつて採集されていない。特に最近本種がアリの一種と共棲することが明らかにされ、蛹化は赤松、山桜などの樹皮下に行なわれる由である。今後の採集指針として大切。

*Argynnis* 属では *A. merippe* FELDER et FELDER オオウラギンヒヨウモン：*A. laodice japonica* MÉNÉTRIÈS ウラギンスジヒヨウモン：*A. hyperdius hyperbius* LINNÉ ツマグロヒヨウモンなどはかなり有望であると思う。

*Polygonia c-album* BUTLER シータテハ：キタテハに酷似しているが山寒地性で、郡北部ではその条件をそなえているようです。

*Sasukia charonda* HEWITSON オオムラサキ 日本産蝶の美麗種で、大体ゴマダラ蝶と同様な習性をもっており、発見されていないのが不思議に思われます。なお、*Neptis pryeri* BUTLER ホシミスジ：*Limenitis glorifica* FRUHSTORFER アサマイチモンジ：佐用郡久崎町櫛田に於いて多数採集しましたことを附記します。(K 8, 1954)。

#### 参 考 文 献

1. 江崎、白水：日本の蝶
2. 林慶二郎：日本蝶類解説
3. 山本 広一 (1952)：佐用郡久崎町の蝶 (1) 兵庫生物, Vol. 2, No. 2
4. 山本 広一 (1953)：佐用郡久崎町の蝶 (2) 兵庫生物, Vol. 2, No. 3
5. 山本 義丸 (1953)：郷土の昆虫(1)、氷上の自然
6. 松井 俊公 (1953)：兵庫県宍粟郡の蝶(1)、すゑむし, Vol. 3, No. 3
7. 松井 俊公 (1954)：兵庫県宍粟郡の蝶追補、すゑむし, Vol. 4, No. 4
8. 山本 広一 (1954)：播磨雪彦山の蝶、兵庫生物, Vol. 2, No. 4～5